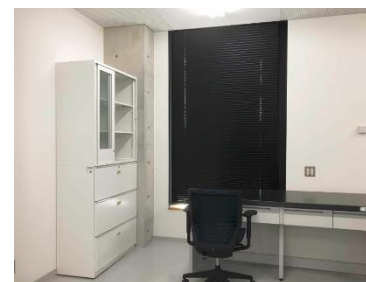


研究室の仕様

■ 床面積（1 部屋あたり）

約 7 0 m²

※右図：内観参照



■ 電気

1 0 0 V ・ 2 0 0 V 使用可

■ 水道

○ 給水

当施設では高架水槽からの送水による圧力で水道水を供給しており、水圧は一律 0.8kg/cm²。研究上、個別に水圧の上昇が必要であれば、各研究室において独自の圧力ポンプを設けるなどの対応が必要。

○ 排水

実験・研究室からの排水は浄化槽ではなく、PHの調整のみで浄化機能の無い中和槽に流れるため、有機及び無機の実験廃液及びその一次洗浄水、二次洗浄水については各研究室にて産業廃棄物として処理することとし、排水は不可。

■ 空調

- ・北棟の空調は、セントラル空調（VAV：可変風量装置）＋レヒーターユニット方式
⇒ 冷・温風の風量調整が可能のため、微調整はレヒーター（加温のみ）にて行う。
- ・南棟の空調は、セントラル空調（CAV：定風量装置）＋ファンコイルユニット方式
⇒ 冷・温風の風量調整が不可能のため、微調整はファンコイル（冷暖切替）にて行う。

■ 床用積載荷重（部屋と渡り廊下）

- ・廊下（渡り廊下）の床用積載荷重：約 290kg/m²
- ・実験・研究室内の床用積載荷重：約 390kg/m²
重量が 1t 以上の機器は、設置に当たって設置位置及び設置方法の検証が必要

■ エレベータの積載重量

- ・1号機（建物西側）：2.2t
- ・2号機（建物東側）：1t

■ クリーンルーム

- ・HEPA付吹出口ユニット
捕集効率 0.3 μm 粒子に対して 99.99%以上

【その他参考】

- ・研究室内はガス・温水使用可。
- ・研究室はICカードにより入退室を管理。
- ・365日24時間利用可。
- ・一部研究室は、機械的振動を伴う研究活動が不可のため、研究内容により研究室を要相談。
- ・危険物の持ち込みには、消防法による上限があります。